

2018年問題

生産調整は農家・産地任せ！
米価はますます不安定に！
政府が業界再編を後押し！



こんなときだからこそ 産地まるごと届けたい

— 2017米屋さんと生産者をつなぐ交流会ご案内 —

大阪会場

各位

2017年7月

農民連ふるさとネットワーク

炎暑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は私どもの取り組みにご理解とご協力をいただきまして心から感謝申し上げます。

さて、2018年から米の生産と流通が大きく変わろうとしています。政府は米の生産目標数量の配分をやめ、需給と価格の安定に対する国の責任を完全に放棄することになります。また、農業競争力強化法が成立され、国の後押しで米業界の再編・淘汰が進められようとしています。大手企業の利益を優先させるアベノミクス農政の一環をなすものです。一方、全農は政府の圧力のもと、「量販店、外食・中食への直接販売を90%、取引卸も20〜30社に集約」などの「改革」を進める方針です。

将来を先取りする形で2016年産の米価が乱高下しました。豊作の新潟コシヒカリの下落に端を発し、北陸、関東のコシヒカリなどが連鎖的に下落し、その後急激に回復・上昇しました。わずかな作柄・需給の変動で短期間に価格が大きく左右される、こうしたことがさらに激しくなることが予想されます。

米の価格は「下げるのは簡単だが、上げるのはいかに大変か」だれもが実感しているところではないでしょうか。私たちは米業者、消費者のみならずともども「国は米の需給と価格の安定に責任を持って」この声をおおきくし、「国産の米を守れ」の運動を広げたいと思っています。

いま、農村地域の疲弊は激しく、危機的な状況が進んでいますが、わたしたちは担い手づくりにも力を注ぎながら、米を作り続けます。そして、こんなときだからこそ、がんばる町の米屋さん和協力しあいながら、大手とは違う“もうひとつの流れ”を太く大きくして行きたいと思います。

交流会では生産現場からの作柄や情勢を報告し、お米屋さんからも率直なご意見をいただくなど交流を深め、産地と消費地のパイプをさらに広げたいと考えます。ぜひご参加いただきますようご案内致します。

日時 8月27日（日） 14時〜16時45分（交流会：参加費無料）
17時15分〜19時頃（懇親会：4,000円程度予定）
会場 大阪リバーサイドホテル（JR桜宮駅より徒歩2分）大阪市都島区中野町5-12-30
TEL 06-6928-3251（別紙地図参照）

お問い合わせは 農民連・近畿ネット（大阪農人会館内）

電話 06-6965-2900 FAX 06-6965-2901

